

おおの森づくりプラン（案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 おおの森づくりプラン（案）について  
 (2) 募集期間 令和6年2月1日（木）から2月15日（木）までの15日間  
 (3) 意見提出状況 提出意見：5件、提出者：2人、提出方法：書面0件・電子メール2件

2 意見の概要とその意見に対する市の考え方

No	意見の概要	回答（市の考え方）	修正箇所
1	<b>森は植物に任せるのが一番で、人が森をつくってはいけない、人が手を加えるとバランス調整がくずれ災害を招くおそれがある。</b>	おおの森づくりプランでは、森林整備や森づくりの方向性を、多面的機能の発揮を主目的とする「環境保全の森」と、木材の持続的な生産を主目的とする「資源循環の森」に大別し、環境保全と資源循環のバランスを考え、必要に応じた森林整備を進めることとしています。	無し
2	<b>大野市の林業はバイオマス発電所を中心に行っているようだが、バイオマス発電は火力発電で大量の二酸化炭素を排出し、温暖化を加速させる。成長に数年かかる森林でカーボンニュートラルをうたっているが自転車操業で、循環させるためにわざわざ間伐材となる木を植えねばならない。</b>	伐採された木材を燃やすことで発生する二酸化炭素は、植栽により成長する樹木に吸収され、大気中の二酸化炭素濃度に影響を与えないといったカーボンニュートラルな取り組みの一つにバイオマス発電所があります。 大野市には伐採期を迎えた森林が多くあり、バイオマス発電所ではそのような木材を利用しています。 木材生産機能の維持発揮を図る「資源循環利用の森づくり」に向け、関係機関等と協議しながら	無し

		計画的な森林施業を進めることで「伐って、使って、植えて、育てる」循環利用のサイクルを構築していきたいと考えています。	
3	<p>林業支援について、バイオ燃料生成に重点をおいてはどうか、製紙会社に取り組んでいるセルロースナノファイバーといった新素材、化石燃料由来に取って代わる自然由来の素材である。森林を活用した新素材づくりに取り組んでいただきたい。大学とタッグを組んだ企業を大野に呼び林業発展を目指してはいかがか。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>林業支援といたしましては、現在、林業事業者に対して、施業の効率化による生産性の向上や新しい担い手の確保、人材育成に向けた取り組みなどへの支援を実施しており、今後も関係機関等と協議しながら、更なる支援について検討してまいりたいと考えています。</p> <p>また、林業支援の一環といたしまして、市民をはじめとする多くの皆様に、森林や林業に対する理解を促し、木材の利用に向けた機運を高めることで、森林を育てていく運動へとつなげていきたいと思えます。</p> <p>林業支援や木材の利用促進などについて、国、県、関係機関等と連携しながら、検討してまいりたいと考えています。</p>	無し
4	<p>おおの森づくりプランは、方向性を示すために策定するとしているが、それだけでは物足りない。「おおの森づくりに向けた基本的な考え方」は従来からの考えを整理しただけでそれに伴う諸課題を説明していない。基本的な考え方を現実</p>	<p>おおの森づくりプランは、本市の森林整備や森づくりの方向性について、市民をはじめとする多くの皆様と内容を共有することで、豊かな森を次世代へと受け継いでいくことを目指しています。森林所有者や林業に関わる人たちだけでなく、全ての人が森</p>	無し

	<p>的な数値で表しその実現に向けた根本課題を把握することで、より効果的な解決策についての議論が深まると思われる。柔軟な発想や創造性も生まれてくると思われる。方向性を示すことがゴールではなく、根本の課題解決に向けた取組みを明示することがプラン策定において重要なことではないか。</p>	<p>林への関心を持っていただくことにより、持続可能な森林利用や保全を進め、林業・木材産業の振興を図るものです。</p> <p>プランの内容については、社会情勢の変化などに応じて、5年を目処に見直しを図ることとしており、現在、県が複数年にわたり進めている航空レーザ計測の結果や、計測後の経年変化による森林状況などを踏まえ、関係機関等と協議しながら、次回以降の見直しの中で、より具体的な内容を盛り込んでいきたいと考えています。</p>	
5	<p>おおの森づくりプランの枠組みから外れるが、木材資源の循環利用の観点から以下を提案する。木材資源の循環利用について、国内需要を喚起することは限界があり、中国市場に活路を見出すことが中長期的にも重要になりつつあり、かつて「大野丸」がそうであったように、木材の輸出振興を提案する。福井県下の木材を越美北線や中部縦貫道を経由して北陸の港から中国や韓国へ輸出する。奥越地区を森林資源の物流拠点として整備していく。輸出拡大に向けたサプライチェーンを構築するための提案をぜひ大野市から福井県に対し発信していただきたい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>おおの森づくりプランでは、資源循環利用の森づくりを進めるため、「伐って、使って、植えて、育てる」といった循環利用のサイクルの構築が重要と考えています。</p> <p>この中の「使って」を担う木材の利用促進について、国、県、関係機関等と連携しながら、取り組んでまいりたいと考えています。</p>	無し